

皆さんから分別排出いただいていますガラスびんが、 どのようにリサイクルされているかを特集しました。

◎ガラスびん再製品化のながれ

- 家庭では**、飲料水、食品、酒類、ドリンクなどが入っていたガラスびんを、キャップ・中栓を外し水洗いして、ステーションにて3種類（茶色・透明・その他）に分別して排出します。
（注）ガラス食器・化粧品のびん・割れたびんなどは「金物・ガレキの日」に出してください。
- 町では**、ステーションに排出されたガラスびんを町が委託した業者によって収集し、その中間処理工場において、リターナブルびん（ビールびん、一升びん、牛乳びんなど洗って何回でも繰り返し使われるびん）を取り除き、再生処理業者へ引き渡します。
- 再生処理工場では**、町から引き取ったガラスびんを細かく粉砕してカレット（原料）を作り、再商品化製造業者に販売します。

◎ガラスびんが生まれかわるまで

家庭



①飲料水、食品、酒類、ドリンクなどが入っていたガラスびんを、キャップ・中栓を外し水洗いする。



②指定日にステーションで3種類に分別。

再生処理工場

町から引き取ったびんを色ごとに細かく砕きます。



色ごとにカレット状（下記写真）の原料にします。



町



ステーションより収集
2種類に分別

ワンウェイびん

リターナブルびん



ワインのびん、ジャムのびん、
ボン酢のびんなど

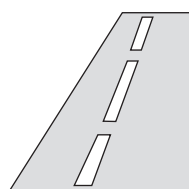


ビールびん、一升びん、
牛乳びんなど

カレットを材料として、新しいびんや舗装用骨材、タイル、ガラス繊維などに使われます。



新しいびん



新しい道路舗装など

そのまま洗浄して、飲料水などの器として再利用